

天文教育

2014 1

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



<年間特集> 彗星 <連載> 宇宙を観じる生活を！

<投稿> 失った時間を取り戻そうと ～ペルーの天文学と共に～
天文学普及プロジェクト「天プラ」はなにを目指すか

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は1～3は原則として奇数月末日、4～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますようお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

「最後の輝き」雲海の上に昇るアイソン彗星

日時 2013年11月22日5時25分 露出10秒
Carl Zeiss Apo-Sonnar T* 2/135 135mm
絞り値 F=4, キヤノン Canon EOS5DMkIII, ISO200,
撮影地：霧ヶ峰(長野県)

今から約46億年ほど前に君が生まれた。原始木星と原始土星の付近で生まれた君は、原始太陽系の成長過程で、太陽系の遥か遠くへはじき飛ばされてしまった。時は46億年も流れ、地球上に人類が誕生した頃、何らかの拍子で、君は、ふるさとの太陽系中心に向かって落ち始めた。そして、君の誕生した付近まで戻って来て、一酸化炭素や

二酸化炭素を爆発的に蒸発させて、大量の「水の氷のかげら」をまき散らしていた。君が大きく見えたのはこのためだ。太陽に近づくにつれて、小さな君の体から、破片がポロポロとはがれて、11月14日、20日前後にそれぞれ1.5等星ほど急増光した。11月22日、地上からも肉眼で見えるようになり、多くの人々が、大彗星になる夢をみた。しかし、夢は叶えられなかった。君の体は、3000近い温度に耐えられず、太陽に最接近する数時間前にばらばらに崩壊した。

アイソン彗星、享年46億年。2013年11月29日未明、太陽表面付近で消失。46億年で初めての太陽系中心部への旅の途上であった。

撮影と文：大西浩次